

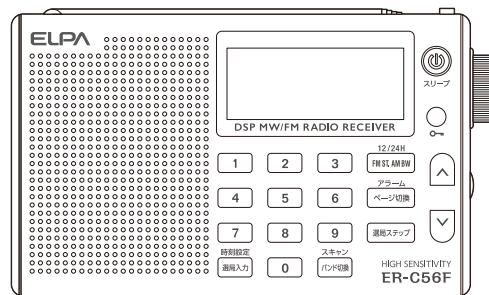
ELPA

ER-C56F

取扱説明書

保証書付

AM/FM 高感度ラジオ



このたびはER-C56Fをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。お使いになる前に、この説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

■安全上のご注意	1
■各部の名称	5
■電源について	8
電池を使用する	8
ACアダプターを使用する	8
■時刻を設定する	9
■ラジオを聴く	10
電源を入/切する	10
音量を調整する	10
バンドを切り換える	10
選局する	11
・マニュアル選局する	11
・オートスキャン選局/登録する	12
・ダイレクト選局する	12
アンテナの調整	13
・MW (AM) 放送の帯域幅の切換方法	13
イヤホンで聴く	14
・FM放送のステレオ切り換え	14
■その他の機能	15
お好みの放送局を登録して聴く	15
アラームを設定する	16
スリープ機能の設定	18
ロック機能	19
シャットダウン	19
リセット(初期化)する	19
■トラブルシューティング	20
■仕様	21
■保証書	22

電気製品は正しく取り扱うことで安全にご使用いただけます。誤った使い方はお使いになる人や他の人への危害、財産への損害につながる可能性があります。
このような事故を未然に防止する為、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。

警告

本体について



分解、改造しない

機器が故障し、やけどや火災の原因になります。



幼児やペットなどに誤って触らせない

やけどや大けが、火災の原因になることがあります。



本体内部に水や異物を入れない

機器が故障し、やけどや火災の原因になります。

 **警告****電池について****電池の誤った使いかたをしない**

- ・火中に入れない
- ・ショートさせたり、分解、加熱しない
- ・電池は充電しない
- ・指定された種類以外の電池は使わない
- ・⊕と⊖を逆に入れない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
- ・使い切った場合や、長時間使用しない場合は、本体から取り出しておく
- ・新旧の電池、種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・液もれした電池は使わない
- ・被覆のはがれた電池は使わない
- ・乳幼児の手の届く所に置かない

ACアダプター(別売)について**ACアダプターは指定する定格のものを使う**

指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。プラグは根元まで確実に差し込んでください。

プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。

長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

 **注意**

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。

 **注意****本体について****異常に温度が高くなる場所に置かない**

- ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- ・夏季の車中や直射日光のあたるところ、暖房器具の近くでは特にご注意ください。

磁気の影響を受けやすいものを近づけない

- ・スピーカーの磁気の影響でキャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

音量を上げすぎない

- ・イヤホンを使用する際は、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えます。

不安定な場所に置かない

- ・振動、衝撃の多い場所、ぐらついた台などの上、傾いた所など不安定な場所に置くと、落下の恐れがあり、故障の原因になります。

本体をベンジン、シンナーなどで拭かない

- ・変形、変色の原因になります。

⚠ 注意

電池について

電池の液がもれた時は素手で液をさわらない

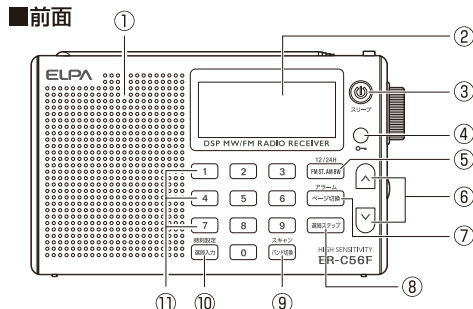
- ・液が身体や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に炎症やけがの症状がある時には医師に相談してください。
- ・電池内部の液が目に入った時は、こすらずすぐにきれいな水で洗い、ただちに医師に相談してください。










火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温になる場所で使用、保管、放置しない

電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えない

電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしない

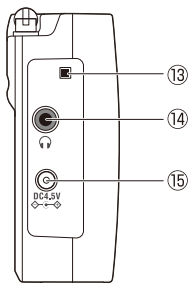
電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。



- ① モノラルスピーカー
- ② 液晶画面
- ③  電源/スリープボタン
電源のON/OFF、スリープ機能の設定
- ④  ロックボタン
- ⑤  FM ST, AM BW 12/24H
AM帯域幅の変更、12/24時間表示の切換
FM放送時モノラル/ステレオ選択
- ⑥  上下ボタン
- ⑦  ページ切換 アラーム
ページの選択、アラーム時間の設定
- ⑧  選局ステップ
選局ステップの設定
- ⑨  スキャン
バンド切換
バンド切換/オートスキャン
- ⑩  時刻設定
選局入力
選局入力/時刻設定ボタン
周波数/時間の入力
- ⑪  1 ~ 0 数字ボタン

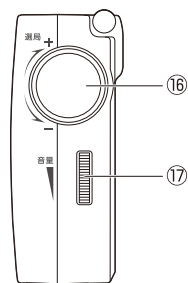
各部の名称(つづき)

■左側面



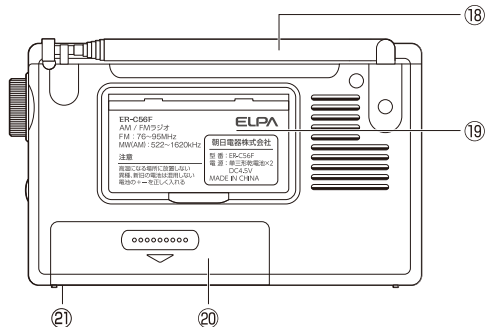
- 13 ストラップホール
- 14 ヘッドホン端子
- 15 DC4.5V
ACアダプタージャック

■右側面



- 16 選局ツマミ
FAST/SLOW/STOP
モード切換
- 17 音量調整ダイヤル

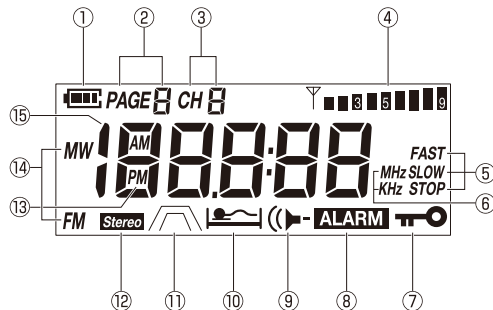
■背面



- 18 ロッドアンテナ
- 19 スタンド
- 20 電池ボックス
- 21 リセット穴

各部の名称(つづき)

■液晶画面

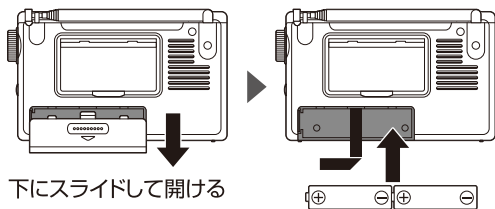


- ① 電池残量表示
- ② ページ番号
- ③ チャンネル番号
- ④ 信号強度
- ⑤ FAST/SLOW/STOP
モード
- ⑥ 周波数
- ⑦ ロック
- ⑧ アラーム
- ⑨ アラームON
- ⑩ スリープ
- ⑪ AM周波数帯域
- ⑫ FMステレオ表示
- ⑬ AM/PM
- ⑭ 局表示
- ⑮ 時間(電源OFF時)
周波数(電源ON時)表示

電源について

電池を使用する

背面の電池ボックスのフタを開け、本体の⊕⊖表示に合わせて単三形アルカリ乾電池2本(別売)をセットし、フタを元通りに取りつけます。

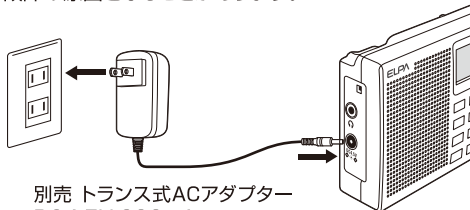


※電池を入れる際は、リボンを電池の下に敷いて入れてください。電池を取り出す際にリボンを引っ張ることで取りやすくなります。

ACアダプターを使用する

ACアダプター(別売)のプラグを本体左側面のDCジャックに差し込み、ACアダプターをコンセントに差し込みます。

※極性統一プラグ(JEITA規格)をご使用ください。
極性統一プラグ以外のACアダプターを使用すると故障の原因となることがあります。



別売 トランス式ACアダプター
DC4.5V 300mA
◇←◇ (JEITA極性統一形)

8

時刻を設定する

1 時刻の設定

電源がOFFの状態です「選局入力/時刻設定ボタン」を約2秒間長押しすると時計設定モードに入ります。

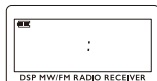
時刻設定

選局入力

約2秒長押し

※約5秒間、何も押さない場合、元の表示に戻ります。

液晶画面に「:」が表示されますので0~9の数字ボタンを押して時刻を設定します。



※時刻の設定をする際は、24時間制で入力してください。

例) PM9:50に設定するとき
2-1-5-0の順に数字ボタンを押します。



2 時間表示の切り換え

電源OFFの状態です「FM ST.AM BW/12/24Hボタン」を長押しするたびに、12/24時間表示を変更することができます。

12/24H

FM ST. AM BW

長押し

● 12時間表示



● 24時間表示



9

ラジオを聴く

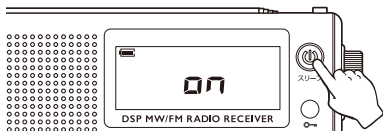
1 電源を入/切する

「電源/スリープボタン」を押すと電源が入ります。

※画面に約2秒ほど「on」と表示されます。

※スリープ機能が設定されている場合は、設定されている時間が表示されます。

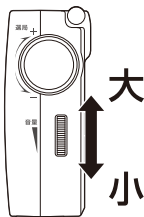
もう一度「電源/スリープボタン」を押すと電源が切れます。



2 音量を調整する

本体右側面の音量調整ダイヤルで音量を調整します。

※初めからボリュームを上げすぎないでください。突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。



3 バンドを切り換える

電源ONの状態では、「バンド切換/スキャンボタン」を押すと、バンドがMW(AM)またはFMに切り換わります。



ラジオを聴く

4 選局する

マニュアル選局/オートスキャン選局/ダイレクト選局から選局方法を選ぶことができます。

<マニュアル選局(手動で選局)する>

① 上下ボタンで選局する場合

「上下ボタン」を短押しすると、以下のステップで周波数を変更することができます。



FM	100kHz
MW(AM)	9kHz

② 周波数ステップボタンで選局する場合

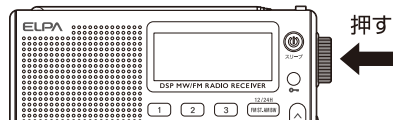
「選局ステップボタン」を押すと周波数をステップできます。



FM	1MHz
MW(AM)	100kHz

③ 選局ツマミで選局する場合

選局ツマミを押すとFAST/SLOW/STOPの順にモードが切り換わり、それぞれのモードで選局ツマミを回して周波数を変更することができます。



それぞれの周波数は下表の通りです。

	FASTモード	SLOWモード
FM	100kHz	10kHz
MW(AM)	9kHz	1kHz

●STOPモードでは選局ツマミでの周波数の変更はできません。

<オートスキャン選局(自動選局)/登録する>

①上下ボタンでオートスキャン選局をする

「上下ボタン」を約2秒間長押しすると自動的に周波数が変わり、放送を受信すると停止します。



約2秒長押し

②バンド切換/スキャンボタンでオートスキャン登録する

「バンド切換/スキャンボタン」を約2秒間長押しすると自動的に周波数が変わり、放送を受信するとPAGE0~9の中のCHO~9チャンネルの順に自動で登録します。



約2秒長押し

※オートスキャンを行うと自動でチャンネルが上書登録されます。上書きしたくないチャンネルがある場合は、あらかじめ上書きされない範囲をご確認ください。

<ダイレクト選局する>

●MW(AM)の場合

「選局入力/時刻設定ボタン」を押し、0~9の数字ボタンで周波数を直接入力します。



●FMの場合

「選局入力/時刻設定ボタン」を押し、0~9の数字ボタンで周波数を直接入力し、「選局入力/時刻設定ボタン」を押します。



もしくは、4桁で入力します。

例)FMモードで「8020」と入力すると自動的に80.200MHzとなります。

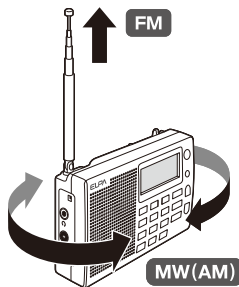


※入力中にしばらく操作がない場合は、入力前の状態に戻ります。

5 アンテナの調整

FM放送

ロッドアンテナを伸ばし、受信状態が最も良くなるように長さや方向と角度を調整してください。



MW(AM)放送

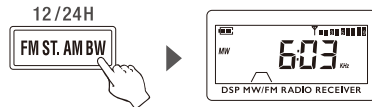
本体内蔵のバーアンテナが動きます。本機の向きを調整してください。

※建物や乗り物の中では電波が弱まり、聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお使いください。

■MW(AM)放送の帯域幅の切替方法

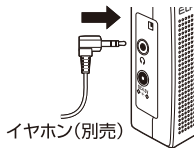
電源ONの状態でもW(AM)モード時に液晶画面に帯域幅マーク「 Γ 」が表示されます。「FM ST.AM BW/12/24Hボタン」を押すたびに、広い帯域幅と狭い帯域幅に切り換えができます。

目的の放送局が混信したり、ノイズが多く聴きづらい場合は、このボタンで帯域幅を切り換え、より聴きやすいように調節してください。



6 イヤホンで聴く

φ3.5mmミニプラグを奥までしっかり差し込んでください。



※イヤホンを接続するとスピーカーからの音声は出力されません。

■FM放送のステレオ切り換え

ステレオイヤホンでFM放送を聴く時に「FM ST.AM BW/12/24Hボタン」を押すとステレオに切り換えができます。液晶画面に **Stereo** が表示されます。



ステレオ起動時:液晶画面に **Stereo** マークが点灯
ステレオ終了時:液晶画面に **Stereo** マークが点滅し、消灯

※ステレオ起動時、ステレオ放送を受信した場合、**Stereo** マークを自動的に液晶画面に表示します。

※内蔵スピーカーはモノラルです。

お好みの放送局を登録して聴く

1 放送局を登録する

「バンド切換/スキャンボタン」でオートスキャン登録を行うと、CHOから順にオートスキャンで受信した周波数が自動で上書きされますので、あらかじめオートスキャンで上書きされにくいCHを確認し、登録することをお勧めします。

各バンドで、PAGE0～9の10ページ、各ページごとにCHO～9の10チャンネル、計100チャンネル(MW/FM合計200チャンネル)を登録することができます。

①PAGE(ページ)を切り換える

電源を入れた状態で、「ページ切換/アラームボタン」を押すと液晶画面に「PAGE」と「CH」が表示され「PAGE」が点滅します。



点滅している間に、0～9の数字ボタンでチャンネル登録したいページの番号を押してページを切り換えます。

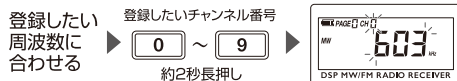
PAGEが点滅している間に数字ボタンを押す



②CH(チャンネル)を登録する

「PAGE」と「CH」の表示が消えたら、登録したい周波数に合わせた状態で、登録したい番号の0～9の数字ボタンを約2秒間長押しするとチャンネルの数字と周波数が点滅し、登録が完了します。

数字キーを約2秒間長押しするとチャンネル番号と周波数が点滅します



2 登録した放送局を選んで聴く

電源を入れた状態で「ページ切換/アラームボタン」を押すと液晶画面に「PAGE」と「CH」が表示され「PAGE」が点滅します。

点滅している間に、0～9の数字ボタンで登録したページの番号を押し、続いて0～9の数字ボタンで登録したチャンネル番号を押しと登録した放送局に切り換わります。

PAGEが点滅している間に数字ボタンを押してページを選択

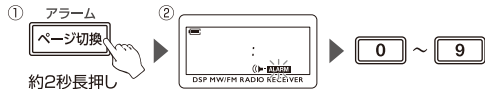


アラームを設定する

アラーム設定モードで時刻を設定すると、設定した時刻に自動的に電源が入り、直前に聴いていた放送局が流れます。

1 時刻の設定

- ① 電源がOFFの状態ですべてのボタンを押すとアラーム設定モードに入ります。
- ② (▶)マークが表示され、ALARMマークが点滅している間に、0～9までのボタンを押して時刻を設定します。



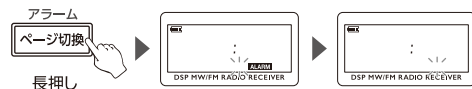
※時刻の設定をする際は、24時間制で入力してください。

- ③ 時刻表示の下に (▶)ALARMマークが表示され、アラームがONの状態になります。

2 アラームをOFFにする

アラームをONにした状態で「ページ切換/アラームボタン」を長押しするとアラームの時刻表示になり (▶)マークが消えて、ALARMマークが点滅し、消えます。

アラームがOFFになります。



3 アラームをONにする

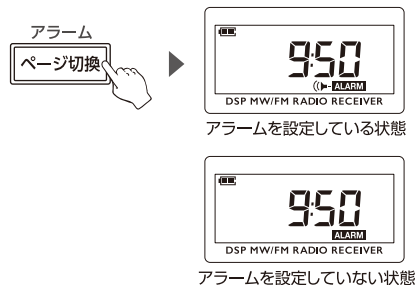
アラームOFFの状態ですべてのボタンを押すとアラームをONにする場合は電源がOFFの状態ですべてのボタンを押すとアラーム設定モードになりますので、時刻を変更しない場合は、もう一度「ページ切換/アラームボタン」を押します。

時刻を再設定する場合は①の手順で、時刻を入力するとその時間で設定されます。

4 時刻とアラームの表示切換

電源OFFの状態ですべてのボタンを押すと時計と設定したアラーム時刻の表示が切り換わります。

約3秒間何も操作しないと時計表示に戻ります。



その他の機能

スリープ機能の設定

スリープ機能で時間を設定すると、設定した時間(分)で自動的に電源が切れます。

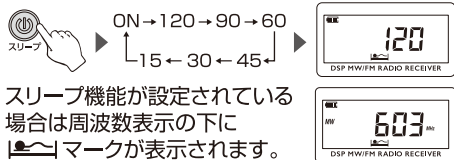
1 スリープ機能を設定する


- ①「電源/スリープボタン」を押すと液晶画面にONと約2秒間表示されます。

※すでにスリープ機能が設定されている場合は、設定されている時間が表示されています。



- ②液晶画面にONと表示されている間に、続けて「電源/スリープボタン」を押すたびに、スリープタイマーが順に表示されますのでスリープ機能を作動させたい時間で止めると時間(分)が設定されます。



スリープ機能が設定されている場合は周波数表示の下に  マークが表示されます。

2 スリープ機能をOFFにする

スリープ機能をOFFにする際は、「電源/スリープボタン」をもう一度押して、ラジオの電源をOFFにしてから、再度「電源/スリープボタン」を押して上記の手順で「ON」に設定します。




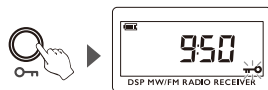
※スリープ機能をOFFにするまで、電源ONにする度にスリープ機能が動作します。

18

その他の機能

ロック機能

「ロックボタン」を押すと液晶画面に  が表示され、音量調整ダイヤル以外のすべてのボタンがロックされます。



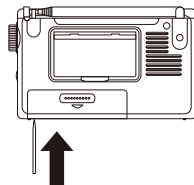
ロックを解除する際は「ロックボタン」を約2秒間長押しします。




シャットダウン


使用時に動作しなくなった時に、本体底面にある「リセット」をつまようじ等で押すと、緊急シャットダウンすることができます。

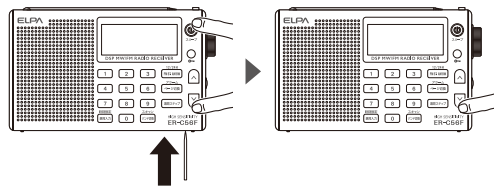
※登録メモリーや時刻設定などはリセットされません。



リセット(初期化)する

本機を初期化する場合は、「電源/スリープボタン」と「上下  ボタン」を押した状態で本体底面にある「リセット」をつまようじ等で押すと、LCD表示が全て表示され、バックライトが点滅します。

その後「上下  ボタン」を再度押すと、初期化が完了です。



19

トラブルシューティング

修理を依頼する前に、下記の内容をご確認ください。

症状	原因および解決方法
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が入っていますか？ 電池が消耗していませんか？ 電池が正しい向きで入れられていますか？ 音量が最小になっていませんか？ イヤホンが接続されたままになっていませんか？ イヤホンが奥まで差し込まれていますか？
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗していませんか？ アンテナを調整していますか？ 近くで携帯電話を使用していませんか？ テレビやパソコン、蛍光灯などの近くでAM放送を受信していませんか？ 推奨するACアダプターを使用していますか？
動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ロック機能が働いていませんか？ シャットダウンしてください。 P.19参照
選局ツマミで周波数が変更できない	<ul style="list-style-type: none"> 選局ツマミを押して、FASTもしくはSLOWモードにしてください。
途中で電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗していませんか？ スリープ機能が設定されていませんか？
勝手に鳴りだす	<ul style="list-style-type: none"> アラームが働いていませんか？

仕様

同調方式	DSP方式	
受信周波数	FM:76~95MHz	
	MW(AM):522~1620kHz	
スピーカー	直径45mm 丸型 25Ω 0.5W	
出力端子	φ3.5mmステレオミニジャック	
電源	DC3V 単三形アルカリ乾電池×2本(別売)	
	DC4.5V 300mA(別売ACアダプター使用) ◇←C→◇(JEITA極性統一形)	
外形寸法(約)	幅128×高さ78×厚さ32(mm)(最大値)	
質量	約178g(ストラップ含み、電池除く)	
電池持続時間(JEITA)	スピーカー使用時	
	MW(AM)	約45時間
	FM	約40時間
	イヤホン使用時(目安)	
	MW(AM)	約80時間
	FM	約70時間

※定格インピーダンス:32Ωのイヤホン使用時

※単三形アルカリ乾電池使用時

※電池の性能、使用条件により電池持続時間は短くなる場合があります。

※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。